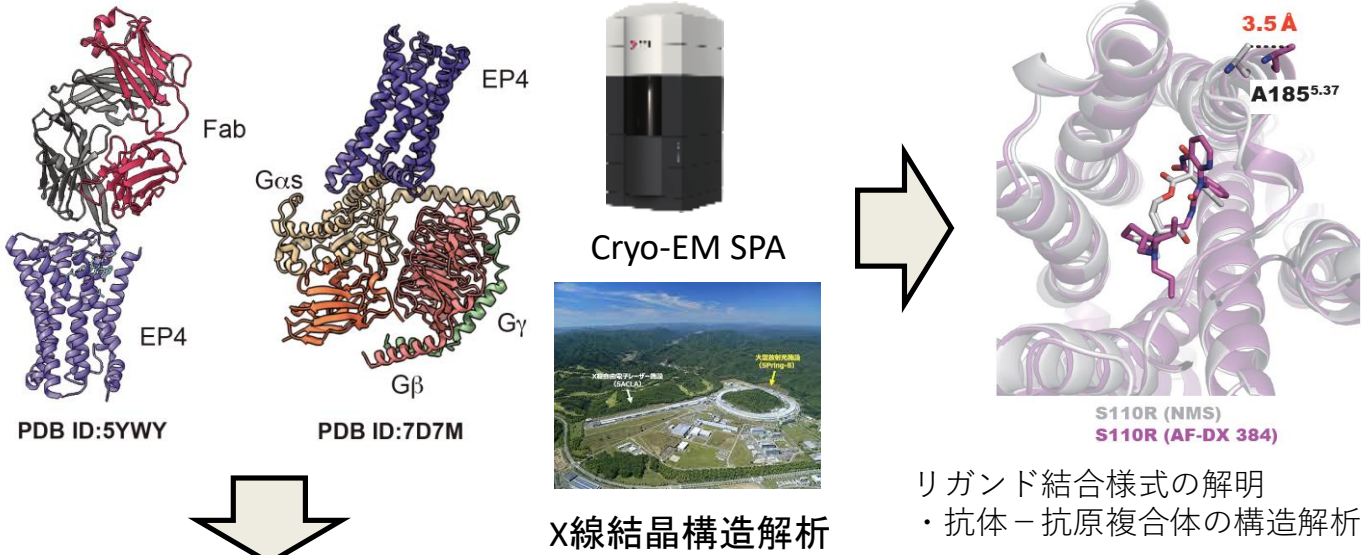




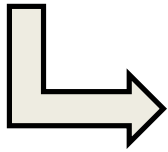
創薬加速に向けた膜タンパク質（GPCR等）の構造解析および抗体作製技術

ご提案したい2つの技術と期待される成果

①創薬ターゲット蛋白質の構造解析をもとにした薬剤開発

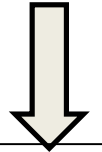


②創薬ターゲット蛋白質に対する立体構造認識抗体の作製

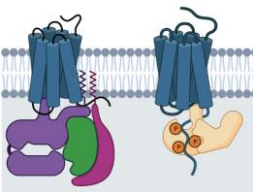


抗体医薬への発展
 光免疫療法、抗体-薬剤複合体 (ADC)、
 PPI創薬、バイオマーカー検出試薬、
 機能性抗体の開発

・構造情報をもとにした薬剤開発 (SBDD)、
 改変抗体による機能の改善



将来の展望



・様々な状態の創薬ターゲットタンパク質の構造情報をもとにした特定のシグナルを伝達、制御する低分子および抗体医薬の創薬 (例) 様GPCRと様々なシグナル伝達因子複合体の構造情報をもとにしたバイアスドリガンドの開発

・新規薬剤を付加した機能性抗体によるがん治療薬の開発

〈問い合わせ先〉

産学知財統括室 佐々木健一 sasakikn@hirakata.kmu.ac.jp

溝上、田中 sangaku@hirakata.kmu.ac.jp

〈研究内容に関して〉

医化学講座 講師 寿野 良二 sunory@hirakata.kmu.ac.jp